

Q&A 集 No.8

(Q10) 2025 年 3 月 8 日から公開

Q10 戦争に勝利した国（国民）が敗戦国を支配し搾取さくしゅします。だから、支配・搾取されたくないため、人は勝利を目指して、あるいは自国に有利な和解を目指して、戦い・抵抗ていこうします。このような争いが絶えない光景を見ていると、神仏や真理や摂理が存在しているのか、疑問です。このような争いが絶えない世界でも、平和と調和と秩序を目指して、摂理が働いているのでしょうか？

A10 現在の地上のように戦争が絶えない世界、そして、戦勝国が敗戦国を支配・搾取することによって繁栄している姿を見ていると、神仏や真理や摂理の存在を否定したくなる気持ちは良くわかります。

神仏の存在については、各自の判断に委ねるとして、ここでは、このような世界でも、平和と調和と秩序を目指して、摂理が働いていることをご説明いたします。

仮定で、A 国と B 国が戦争を行い、A 国は B 国の、

- ① 建物 100 万戸を壊した。
- ② 道路 1 万箇所を壊した。
- ③ 橋 1 万箇所を壊した。
- ④ 発電所 10 箇所を壊した。
- ⑤ 農地等に地雷じらいを 100 万個埋めた。

とします。

一方、B 国は A 国の、

- ① 建物 300 万戸を壊した。
- ② 道路 3 万箇所を壊した。

- ③ 橋 3 万箇所を壊した。
- ④ 発電所 30 箇所を壊した。
- ⑤ 農地等に地雷を 300 万個埋めた。

とします。

この戦争に関わった A 国民、B 国民が死んで、(輪廻) 転生する世界は、A 国民は、B 国民に、B 国民は、A 国民なのです。

つまり、互いに、自分たちが、壊した建物や道路や橋や発電所を修復し、埋めた地雷を撤去する人生を、送ることになるのです。

つまり、自身の報いを自ら受ける (= 何人も罪の報いを髪の毛 1 本ほども軽くできない) という真理が守られた、誰もが納得できる摂理 (= 霊界と宇宙に存在する全霊体の総意・英知) の働きなのです。

惑星霊界や人霊界で、今の地上人類よりも霊界通信力が数万倍～1000 億倍ほど進化した世界ですから、下線部の摂理の働きが常識となっていることと、人を殺めたり苦しみを与えたりすると、天罰によって、直ぐに、手足の機能が没収される世界ですから、相手の国を攻撃する愚かなことをする霊体は存在しません。

皆様は銀河霊ですから、輪廻転生は 2 億年に 1 度の頻度となりますので、戦争に関わった人の類魂たちが、相手国民となって転生して、壊した建物等を修復する人生を送ることになります。

なので、地上の皆様も、相手国の建物等を壊せば壊すほど、類魂たち、そしてやがて皆様自身が、修復作業の悲惨な人生を歩むことになる摂理の実相の姿に、気づくべきだと思います。

回答は以上です。